

公益財団法人書壇院 令和5年度事業報告

公益目的事業1 書道に関する普及啓蒙活動事業

第1 収蔵品の調査研究と貸出・公開	1頁
第2 講演会・ギャラリートーク	1頁
第3 展覧会	2頁
第4 『書壇院史 III』の作成	3頁

公益目的事業2 書道に関する支援・能力開発事業

第1 書道に関する技能能力の審査・認定	3頁
第2 書道教育研究誌の頒布	3頁
第3 次代を担う指導者の育成	6頁

収益事業等

第1 不動産賃貸事業	7頁
第2 懇親会	7頁

公益目的事業1 書道に関する普及啓蒙活動事業

第1 収蔵品の調査研究と貸出・公開

1 企画維持管理

- (1) 新規購入品及び寄贈品を整理・配架した。
- (2) 苞竹記念文庫の書庫・収蔵品を整理・管理した。
 - ア 閲覧図書及管理及び本の破れ等の修理をした。
 - イ 寄贈品を整理し、書棚に移動した。
 - ウ 軸額類のいたみ・破損を点検した。
- (3) 書壇院ギャラリーでの展示の実施
 - ア 第116回展<企画展示> ※下記3(1)のとおり
 - イ 第117回展<企画展示> ※下記3(2)のとおり
 - ウ 第118回展<企画展示> ※下記3(3)のとおり

2 調査研究

日本の書の拓本の調査を継続中。

- ア 釈文の採録
- イ 粗読み
- ウ 必要に応じ原石等の実地調査

3 展示事業

- (1) 第116回展<企画展示>
朱篁が逐った中国漢碑と画像石－柳澤朱篁顧問寄贈による その2－
会期：令和5年4月4日（火）～5月28日（日）
- (2) 第117回展<企画展示>
朱篁が魅せられた中国北魏の楷書－柳澤朱篁顧問寄贈による その3－
会期：令和5年6月13日（火）～7月23日（日）
- (3) 第118回展<企画展示>
『書壇』創刊95周年記念 吉田苞竹の書道理念を支えた先師たち
会期：令和5年11月21日（火）～令和6年1月28日（日）

第2 講演会・ギャラリートーク

1 講演会

第26回文化講演会を実施した。

演題：「これからの書の楽しみ方」

講師：東京学芸大学名誉教授 長野竹軒先生

日時：令和5年6月4日（日）午後2時開演

会場：東京国立近代美術館 講堂（地下）

聴衆：80名

会費：1,000円

2 ギャラリートーク

企画展示の期間中にギャラリートークを行った。

・第116回展

令和5年5月26日（金）午前10時30分 講師：柳澤朱篁

・第117回展

令和5年6月23日（金）午前10時30分 講師：柳澤朱篁

令和5年7月16日（日）午前10時30分 講師：柳澤朱篁

・第118回展

令和6年1月19日（金）午前10時30分 講師：町田玄洞

第3 展覧会

1 第15回書壇院日本文の書展

会 期：Ⅰ 令和5年9月 6日（水）～ 9月14日（木）

Ⅱ 令和5年9月16日（土）～ 9月24日（日）

Ⅲ 令和5年9月27日（水）～10月 5日（木）

会 場：書壇院ギャラリー

出品者：書壇院展審査会員122点、院友78点 合計200点

2 第90回記念書壇院展

会 期：令和5年11月26日（日）～12月2日（土）

会 場：東京都美術館（東京・上野公園）

出品者：全国公募による出品者 510点

書壇院展審査会員 210点

書壇院展院友 151点

合計 871点

『第90回記念書壇院展作品集』の編集を行った。

3 第90回記念書壇院学生展

会 期：上記2に同じ

会 場：上記2に同じ
出品者：全国公募による小学生 676点
 〃 中学生 173点
 〃 高校生 81点
 合計 930点

4 第63回書壇院竹心展

会 期：令和6年3月19日（火）～24日（日）
会 場：セントラルミュージアム銀座（紙パルプ会館5F）
出品者：書壇院展審査会員 159点
 書壇院展院友（特別選抜者） 11点
 合計 170点

第4 『書壇院史 III』の作成

令和5年度に財団設立80周年を迎えたことを記念して、『書壇院史 III』の編集を行った（出版は令和6年度）。

公益目的事業2 書道に関する支援・能力開発事業

第1 書道に関する技能能力の審査・認定

各昇位試験及び書道・南画教授認定試験を実施した。

1 漢字・かな・南画昇位試験

締切：令和5年6月7日 受験者：27名 合格者：26名

2 玄位・妙位・雪位試験

締切：令和5年8月8日 受験者：65名 合格者：45名

3 書道・南画教授認定試験

締切：令和5年9月7日 資格保持者：0名 受験者：4名 認定者：4名

4 日本文部昇位試験

締切：令和5年10月7日 受験者：50名 合格者：12名

5 上位・極位・雅位試験

締切：令和6年3月7日 受験者：110名 合格者：38名

第2 書道教育研究誌の頒布

1 書道教育研究誌である月刊『書壇』・『学生書壇』の刊行について

(1) 書壇院は、公益財団法人としての理念を体し次の諸事項を行った。

ア 『書壇』・『学生書壇』の誌代を次のようにした。

『書壇』 1部800円（送料・消費税込）

『学生書壇』 1部450円（送料・消費税込）

イ 『書壇』購読者は、漢字・かな・南画・日本文・篆刻のすべての部門の競書出品を無料とした。

ウ 『学生書壇』購読者は、漢字・かな・硬筆すべての部門の競書出品を無料とした。

エ 過去1年間（4月号～3月号）に購読又は取り扱った冊数が一定以上に達した指導者（あるいは取扱責任者）を「協力員」とし、その姓号（氏名）を誌上に発表して協力を讃えた。

オ 両誌に今後も改善を加え、魅力ある教育研究誌となるよう一層努力した。

（2）『書壇』について

ア 月例掲載記事は令和4年度に準じて行った。

イ 表紙は、山東省の雲峰山にある鄭道昭「論經書詩」の一部とし、裏表紙は、書壇院蔵の作品に解説を添えて載せた。

ウ 「同人参考手本」

条幅・半紙とも、読者の競書出品の参考となるようにした。

また、2尺×6尺・3尺×4尺の参考手本は、書壇院展・毎日書道展への取組みを身近なものとし、制作意欲を刺激し、出品数の増加を図る目的で掲載した（漢字・かな・日本文）。

エ 「漢字規定」

上位・準上位の課題は引き続き唐詩を、玄位～六位及び新規は五言句の参考手本を掲載した。小字の課題は引き続き古典と近藤秋篁書の臨書を取り入れた。

オ 「かな規定」

極位・準極位は和歌又は俳句を、妙位～6位及び新規は参考手本を掲載した。

カ 「南画規定」

南画初学講座として参考手本と解説を載せた。

キ 「漢字臨書規定」

古典研究として読者の作品制作の糧となるような古典を選び、参考手本

(条幅・半紙) と解説を載せた。

ク 「かな臨書規定」

極位～2位は古典の臨書とし、3位～6位はその中の一部分を参考手本により臨書した。

ケ 「日本文の書」

参考手本(半紙規定・条幅規定)を掲載し、規定と随意を募集した。

コ 「篆刻入門」

参考手本を掲載し、規定と随意又は模刻を募集した。

サ 随時掲載記事

『書道讀本』吉田苞竹著(抜粋)、「展覧会案内」、「展覧会報告」、「書壇院日記」その他を載せた。

シ 「審査会員遊苑」

『書壇』の審査会員を対象に毎月課題を設定し、作品制作をすることで書の技倆の向上に資するようにした(漢字・かな・日本文)。

ス 表具店、文房四宝店等の広告をなるべく多く掲載し、購読者への情報提供の拡大を図った。

セ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないよう注意を喚起した。

(3) 『学生書壇』について

ア 月例掲載記事は、令和4年度に準じて行った。

イ 表紙は、泗水昇鼎図より取りあげた。

ウ 表紙裏に「古典への招待」を載せた。

エ 「鑑賞作品」は、古典の一部を大きく掲載し、やさしい解説を添えた。

オ 掲載手本

「毛筆部」… 幼児、小1～小6、中1～中3、高校(11種)

「かな部」… かな中学、かな高校(2種)

「硬筆部」… 幼児、小1～小6、中・高(8種)

カ 「特待生紹介」は、従来どおり掲載した。

キ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないよう注意を喚起した。

2 『書壇』『学生書壇』の売上部数について

令和5年度の年間売上部数は以下のとおりであった。

『書壇』 … 23,962部 (前年度比1,420部減)

『学生書壇』 … 27,782部 (前年度比 616部減)

第3 次代を担う指導者の育成

1 書道教室の継続実施

書道教室(漢字・かな・子ども)を月2回(原則として第2週・第4週)、書壇院ホールにおいて継続実施した。

漢字 水曜日・金曜日

かな 火曜日・土曜日

水墨画(南画) (休講中)

子ども 水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日

2 書道講習会の開催

書道講習会を2回(日本文・かなを1回ずつ)実施した。

日本文 7月 2日(日)

かな 2月17日(土)

3 新春書き初め展の実施

書壇院書道教室(子ども)の新春書き初め展を令和6年1月5日(金)～1月15日(月)まで実施した。

4 「若竹」活動の一層の活発化

(1) 第8回書壇院若竹作品発表会の開催

「若竹」の活動の成果を発表するため、7月30日(日)～8月10日(木)、書壇院ギャラリーで開催した。出品数は190点。

(2) 第13回インターネット展の開催

前記(1)の作品を世間に発表するため、書壇院ホームページにおいて、引き続きインターネット展を開催した。

(3) 「若竹」(書の向上を目指す仲間たち)の活動

若竹交流会を1回(12月)開催した。

5 他団体主催展覧会への出品参加

(1) 毎日書道展への出品

4月4日(火)、書壇院ホールにおいて、作品検討会(東京)を実施。

令和6年2月25日(日)、新潟市において、条幅錬成会を実施。

(2) 高野山競書大会への出品

第57回高野山競書大会に2,414点出品し、団体特別優秀賞を受賞。

(3) 国際高校生選抜書展への出品

第32回国際高校生選抜書展へ35点出品し、7名が入選。

(4) 山形県鶴岡市立朝陽第二小学校（吉田苞竹の母校）の書き初め会への支援として、賞状（苞竹奨励賞）と副賞（墨液）を送付。

収益事業等

第1 不動産賃貸事業

1 事務所床の賃貸

賃貸人・公益財団法人書壇院と賃借人・森ビル株式会社が締結した「建物賃貸借契約書」に基づき、本院所有の事務所床（東京都港区六本木1-9-10アーケヒルズ仙石山森タワー27階部分）を賃貸した。

2 書壇院ギャラリー・ホールの賃貸

「書壇院ギャラリー」「書壇院ホール」貸出し規定に基づき、貸出しを行った。

・貸出実績：ギャラリー1回、ホール12回

第2 懇親会

講演会・展覧会の実施に付随し、他の書道団体や研究者との意見交換を通じて幅広い知見を得る観点から、次の懇親会等を開催した。

- ・「第26回文化講演会」懇親会
- ・「第90回記念書壇院展」祝賀会
- ・「第63回書壇院竹心展」懇親会

※ 事業報告の附属明細書について

事業報告の内容を補足する重要な事項は、全て事業報告に記載した。